

新年あけましておめでとうございます。

皆様には日頃より当協会に対しまして格別なご厚誼を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は元旦に発災した能登半島地震により予想を超える甚大な震災被害が生じました。

1995年の阪神淡路大震災以来多くの大震災を経験する中で我々が積み上げてきた建築と都市の防災への努力が一挙に否定されたようなショックに見舞われました。

熊本地震を超える震災でお亡くなりになられた方や関連死された皆様には心より哀悼の誠を捧げますとともにいまだに災害復旧の渦中にある方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

当協会は本年も大震災の被害を最小化するために大分県内の建築物全般の耐震化に総力をあげて努めてまいります。

また、本年は4月よりすべての建築物の省エネ基準への適合化が求められてまいります。2050年に目標とされているカーボンニュートラル実現のための全ての建築ストックのZEH、ZEB化に向けて節目の年となります。

諸物価の高騰、人材不足等建築にとって悪条件のもとグリーン化を推進する為にも建築士事務所のリテラシーの向上が求められています。

当協会といたしましては、建築士サポートセンターとしての機能を果たしつつグリーン化政策の推進に貢献して参ります。

GXに引き続きDXにつきましても、BIMの普及促進に設計分野のみならず、行政、施工分野の建築にたずさわる人材を対象にした研修会を開催してまいります。

また、若い建築技術者の育成の為のインターンシップの実施や50年の歴史を誇る卒業設計コンクールを開催して若者の建築意欲を鼓舞してまいります。

本年も当協会の取り組みに絶大なご支援をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



会長 仲摩 和雄